

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	映像リテラシーC2(編集基礎)	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品(ドラマやドキュメンタリー等)を見せる。				
担当教員情報					
担当教員	笹本 崇	実務経験の有無・職種	有・映像編集業務		
学習目的					
<p>テレビ業界に就職する為に必要な一般的な技術知識を幅広く学ぶ。</p> <p>NHKや民放の特徴や違いから視聴率の知識を学び、カメラやVTRがどのような仕組みで動いているかや編集に必要なテレビの構造や方式などを理解する。</p> <p>またInterBEE(国際放送機器展)の紹介を取り入れ最新の技術に触れる機会を作る。</p>					
到達目標					
<p>放送業界で使われている技術の基礎を幅広く学び就職後に役立たせる。</p> <p>自分の興味のある職種以外の技術を学ぶ事により、知らなかった事にも興味を持つ意識を付ける。</p>					
教育方法等					
授業概要	この授業ではテキストを毎回配布、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚える。映像の視聴を交えながら重要ポイント理解する。				
注意点	この授業ではキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験結果で評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回~15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	NHKと民放について	NHKと民放(日テレ)の特徴や違いを理解して放送業界全体の仕組みを理解する			
2回	視聴率について	番組の評価に欠かせない視聴率を学びテレビと視聴率の関係を理解する			
3回	コールサインについて	テレビ局で使用されているコールサインを学ぶ。放送局とコールサインの関係を理解する			
4回	編集技術基礎(1)光の三原色について	テレビ技術に应用されている光の三原色を学ぶ。放送技術と光の三原色の関係を整理する			
5回	編集技術基礎(2)色材の三原色について	塗装や印刷に应用されている色材の三原色を学ぶ。また加法混色と減法混色の特徴と違いを理解する			
6回	CCDとCMOSについて	カメラの構造で最も重要なセンサーの種類を学ぶ。センサーと画素の関係を理解する			
7回	被写界深度について	撮影技法の一つの被写界深度を学ぶ。センサーの大きさやレンズの明るさとアイリスの関係を理解する			
8回	世界のテレビ方式について(1)	世界の地上デジタルテレビ方式の種類を学ぶ。様々な方式やワンセグの特徴、採用国を理解する			
9回	世界のテレビ方式について(2)	世界の地上アナログテレビ方式の種類を学ぶ。様々な方式の特徴、採用国を理解する。			
10回	InterBEE(国際放送機器展)について	毎年11月に開催されるInterBEE(国際放送機器展)を見学。授業で最新技術のポイントを解説する			
11回	編集技術基礎(3)インターレースについて	撮影や編集をする上で重要な知識のインターレースを学ぶ。インターレースの仕組みを理解する			
12回	編集技術基礎(4)プログレッシブについて	撮影や編集をする上で重要な知識のプログレッシブを学ぶ。プログレッシブの仕組みを理解する			
13回	地デジ放送について(1)	世界一の高さを誇る東京スカイツリーの特徴を学ぶ。地デジと東京スカイツリーの関係を理解する			
14回	地デジ放送について(2)	東京スカイツリーの興行面を学ぶ。東京タワーとの違いを知る事でスカイツリーの必要性を理解する			
15回	後期まとめ復習&後期試験対策	後期の内容まとめと復習、後期試験対策講座で満点を目指す!			